

令和6年度 外部評価シート

施設名	県立武道館	現指定管理期間	令和3年～7年(5年間)
指定管理者	兵庫県スポーツ協会武道館グループ	選定方法	公募

1 評価項目ごとの評価 (対象期間：令和3年～6年)

評価項目	評価
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進んでいるが、R4～R6年度にかけて大規模修繕が行われるなど、適宜施設修繕を行うことで、施設の長寿命化が図られている。 スギやヒノキが使用されている武道場の床や、全国でも非常に珍しい床転換システムなど、特殊設備を有する施設のため、専門的な業者による維持管理が必要となる。
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> HPに3か月先までの予約状況を掲載するなど、HPの内容が非常に充実している。 第二道場以外は稼働率が低調な傾向にあるため、SNSの活用、他施設との連携、学校等へのPRなどを行うことで、新規利用者獲得を目指す必要がある。 武道ツーリズムの事業化などインバウンド向けの事業実施を検討する必要がある。 アンケートの母体数が非常に少ないため、アンケート方法の見直しなど、県民ニーズをより把握できる方法を再考する必要がある。 全県的なスポーツイベントなど、市立施設ではなく、「県立施設」としての事業展開を計画する必要がある。
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 第二道場の稼働率は80%を超えており、利用者ニーズが非常に高い施設である。 利用者数は増加傾向にあるが、収益との結びつきが弱い。 第二道場(専用利用)、会議室などについては、コロナ禍前の利用水準には回復していないため、原因解明を行うとともに対策を講じる必要がある。
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> 今後も予想される光熱費や人件費の高騰などを見据えて、収支計画の見直しが必要である。 小中高生を対象とした自主事業だけではなく、収益事業となるイベントの実施などを検討する必要がある。 講座の募集人数を再検討するなど、収支改善に向けて事業全体の見直しを行う必要がある。
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> 各スポーツ関係団体と連携した施設運営が行われている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 2026年に完成予定である「ひめじスーパーアリーナ(姫路市PFI事業)」と連携し、効率的な維持管理と効果的な運営を実現するなど、県の財政的な負担軽減を図りたい。

2 残りの指定期間における改善点

- SNSの活用、他施設との連携、学校等へのPRなどによる新規利用者の獲得
- 県民ニーズをより把握することができるアンケートなどの検討
- 武道ツーリズムの事業化などインバウンド向け事業の検討
- 全県的なスポーツイベントなど、市立施設ではなく、「県立施設」としての事業展開の計画
- コロナ禍前の利用水準に回復していない原因の解明と対策の実施
- 収益事業となるイベントの実施や講座の募集人数の再考など、収支改善に向けた事業計画の見直し

3 次期公募に向けた検討課題等

- 武道ツーリズムなどインバウンド向けの事業提案の募集
- 全県的なイベント実施など、県立施設としての目的や機能が十分に達成される事業提案の募集
- 姫路市のPFI事業と連携した事業提案の募集

(参考) 兵庫県立体育施設指定管理者外部評価委員

氏名	主な役職	備考
柳沢 和雄	武庫川女子大学 健康・スポーツ科学部 スポーツマネジメント学科 教授	委員長
東 一洋	株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 シニアマネージャー	委員
宇田 名保美	A D U株式会社 代表取締役／中小企業診断士	委員
遠藤 小百合	兵庫県カーヌー協会 理事長	委員
小倉 陽子	兵庫県県民生活部 次長	委員